

## 尾張北支部

## 施設見学会

- 日 時：令和6年10月29日（水）  
～ 30日（木）
- 視察先：日本リサイクルセンター（株）  
中島事業所（大阪市西淀川区中島2丁目9番141号）  
NPO 法人木野環境  
小さな循環農場（京都市伏見区向島鷹場町 62）
- 参加者：11名

尾張北支部（南村朋幸支部長）は、社会的に注目されている再資源化事業及びカーボンニュートラルへの取組をビジネス化されている企業へ「施設見学会」を開催しました。

初日は、日本リサイクルセンター（株）を訪問し、充電式電池のリサイクルについて見学をしました。

充電式電池のリサイクルは、①ニカド電池、②ニッケル水素電池、③リチウムイオン電池、④アルカリ蓄電池に分けます。①②③は種類や形状ごとに分別、①②は破碎された後、熱処理をされて二次加工を経て再生金属原料となります。③は熱処理され再生金属原料となります。④は分離解体後、アルカリ液は中和され、樹脂類は再生樹脂原料として販売します。

再生金属原料は含有する金属成分（Ni、Co、Cd、Fe、Cu、Al、など）に応じて、様々な金属原料や電池原料として販売されます。現在、主要な充電式電池のほぼ全てをリサイクルできるまでに至り、循環型社会の発展に貢献されているとのことでした。



担当者の説明を受け工場内を見学 工場内見学の様子



日本リサイクルセンター（株）社屋内での記念撮影



施設内にてNPO法人木野環境 小さな循環農場の概要を聞く



屋外にて具体的な説明を聞く

ソーラーシェア施設を見学

二日目は、NPO 法人木野環境の小さな循環農場を見学しました。

小さな循環農場とは、向島で代々農業を受け継いだ（株）中島農園と NPO 法人木野環境が共同で実践するカーボンニュートラル農場です。アイガモ農法、無農薬の田んぼの上に太陽光パネルを設置したソーラーシェアを見学後、オール再生材で建てた施設内で代表理事の丸谷一耕氏から概要を聞きました。

施設内で消費するエネルギーは再生 RE100 の取組により、100%再生可能エネルギーを自社調達しており、また、施設内のトイレはバイオガスと液肥が生産できるシステムです。各取組に循環農場の名の通り、そのコンセプトが生かされていました。

今回、日本リサイクルセンター（株）様、NPO 法人木野環境小さな循環農場様への施設見学会は、大変有意義であり多くの事を学ばせていただく機会を得ました。各社のご担当社様にはお忙しい中、ご対応いただきありがとうございますございました。

### ◎施設見学会アンケート結果

・施設見学会について：10名が満足と回答

2施設共に初めて知る内容ばかりで、非常に勉強・刺激になった。リチウムイオン電池の事故防止、取り扱いに興味があり参加して良かった。処理困難物であるイオンリチウム電池のリサイクルに興味があったので処理工程を視察でき良かった。再エネに関して初めてのことなので考えの一助となった。